

# 令和3年度 さいたま市立原山小学校 自己評価書

さいたま市立原山小学校長

## 1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 新学習指導要領の確実な全面実施、学校課題研究を通じた授業改善、GIGA スクール構想の推進等を展開し、確かな学力をはぐくむ。
- (2) 子どもに寄り添い、いじめや不登校を未然に防ぐ。
- (3) 家庭や地域と連携して豊かな心をはぐくみ、安全で潤いのある教育環境をつくる。
- (4) 風通しのよい職場づくりと「迅速」「誠実」をもって対応できる職員組織を構築する。

## 2 評価結果について

- ・児童アンケートにおいて、「授業では、自分から進んで発表しています。」の肯定的な回答が約70%で、昨年度と比べて約4%上昇した。主体性に課題はみられるが、改善傾向である。
- ・児童アンケートにおいて、「前はできなかったことなのに、授業をうけて、できるようになったことがあります。」の項目で肯定的な回答が約94%だった。また、保護者アンケートにおいて、「学校は、学習の基礎基本に重点を置き、学習指導の充実に努めている。」の項目で肯定的な回答が99%、「学校では子どもが学習内容をわかりやすいように授業を工夫している。」の項目で肯定的な回答が98%だった。新学習指導要領に基づき、一人一台端末を活用しながら授業を行ってきた成果だと考える。
- ・児童アンケートにおいて、「毎日、友だちと仲よく過ごしています。」の項目で肯定的な回答が約96%だった。また、保護者アンケートにおいて、「お子さんは、友達と仲よく生活している。」の項目で肯定的な回答が99%、「学校は、子どもの悩みやトラブル、相談、要望等について、適切に対応している。」の項目で肯定的な回答が96%だった。児童に寄り添って丁寧に対応した結果、多くの児童が安心感をもって学校生活を過ごし、保護者の理解を得られていることが分かる。
- ・保護者アンケートにおいて、「学校では、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行い、学校をよく知ってもらうため、積極的な情報提供を適切に行っている。」の項目で肯定的な回答が95%だった。行事写真のインターネット販売、形態を工夫しての授業参観を実施、欠席・遅刻連絡の電子化、学校ホームページの活用等の成果だと考えられる。
- ・教職員アンケートにおいて、「組織運営の状況」の項目で肯定的な回答は100%であったが、コロナ禍における学校-保護者、学校-地域、職員間の連携や新しい業務への対応については、内容を見直し、教育活動の更なる充実のため改善を図っていきたい。

## 3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・児童の主体性をより引き出すために、引き続き学校課題研修を推進するとともに、一人一台端末活用の充実を更に図っていく。
- ・学校運営や教育活動の見直しを図るために、「教科担任制プロジェクト」、「学校行事検討プロジェクト」、「校務分掌・会議プロジェクト」を立ち上げ、検討や改善をしたい。
- ・コミュニティスクール初年度として学校運営協議会を設置し、学校・家庭・地域の連携を深めた教育活動を推進する。